

【砂防課】富士砂防事務所主催の無人化施工バックホウ見学会に参加しました！

2月19日（水）に大沢川遊砂地（富士宮市上井出）で国土交通省富士砂防事務所主催の「無人化施工バックホウ見学会」が開催されました。

大規模な土砂災害が発生した雲仙普賢岳や熱海土石流等の危険な現場では、建設作業員の安全を確保しながら作業を進められる「無人化施工バックホウ」が活用されています。

今回の見学会では、静岡及び山梨県内の県・市町職員、地元建設会社など66名が参加し、遠隔操縦式バックホウや、通常のバックホウを遠隔操作する「ロボQS（簡易遠隔操縦装置）」、UAVの自律飛行を見学し、特徴や留意点などの説明を受けました。

「ロボQS」は令和6年9月に静岡市葵区の林道で発生した斜面崩壊の復旧現場でも使用されており、今後も安全かつ迅速な災害対応での活用が期待されます。

国土交通省の最新のDXの取組を参考にしながら、県内の砂防関係の建設現場の安全の確保や生産性向上に取り組んでいきます。



ロボQS装着バックホウを体験しました！！